

雜乙第二一號

起 案 昭和九年五月一日

裁可 決定 年月日 年月日 施行

年月日

佐野

内閣總理大臣 

内閣書記官長



内閣書記官長



昭和九年五月三日

内閣總理大臣

文部大臣宛

別紙教育勅語中忠孝二字ノ解釋ヲ宮中

内

閣

ヨリ一般國民ニ教示アラシムコトヲ請フノ件

奏聞濟内大臣ヨリ参考ノ爲送付ノ處貴  
省主管ノ件ニ付及回付候間可然處理ノ  
上回報相成度



裏面白紙

請第一〇號

教育勅語中忠孝二字ノ解釋ヲ宮中ヨリ  
一般國民ニ教示アラシコトヲ請フノ件

小野 茂吉

右奉呈請願書ハ奏聞濟ノ處參考  
ノ為及御送付候也

昭和九年五月一日

内大臣伯爵牧野伸顯



内閣總理大臣子爵齋藤 實殿

雜乙二一

内大臣府



要項

教育勅語中忠孝二字ノ解釋ヲ宮中ヨリ一般國民ニ御教示アラセラレ  
タク奉請願候

理由

天皇陛下ハ國民血族上ノ大父ニ在マシ又國家ノ元首ニ在マシ國民ハ  
陛下ノ赤子ニシテ又皇室ノ臣民ニ御坐候サレハ大父ニ對シ奉リ大孝  
ヲ盡シ元首ニ對シ奉リ大忠ヲ盡スヘク二重ノ奉公心ヲ養フハ是國民  
教育ノ本旨ト奉存教育勅語中ノ我臣民克ク忠ニ克ク孝ニノ勅ハ國民  
ノ皇室ニ對シ奉リ盡スヘキ大忠大孝ヲ御教示アラセラレタルモノト  
奉存候

内閣

我國體ノ基礎ハ陛下ノ君父兩位ヲ兼ネ奉リ國民ノ臣子兩位ヲ併セタ  
ル君臣ト父子トノ判然タル皇室ト國民トノ名分ニ存シ若シ此二重ノ  
名分ニシテ不明又ハ紊亂ニ歸シ候ハ、國體ノ動搖ハ免レサルベカラ  
サルモノト奉存候サレハ建國以來國民ハ此名分ヲ擁護センカ爲メニ  
ハ父母妻子ヲ犠牲ニ供スルヲ辭セス君父タル皇室ノ爲ニ盡シ奉リ以  
テ大義ノ大道ヲ全フシ臣子ノ分ヲ盡シ以テ列聖ノ德ニ答ヘ奉リ來リ  
候

中古我國民道德大ニ衰ヘ君臣ノ名分全ク紊亂シ國民ハ皇室ニ對シ奉  
リ全ク大忠ノ精神ヲ失ヒタル結果政權ハ武家ニ歸シ大ニ皇威ノ衰微  
ニ陥リ賜ヒタルニ係ハラヌ如何ナル奸雄モ天位ニ對シ奉リ一指ヲ加  
フル事能ハザリシハ尙國民ノ大父ニ對シ奉リ未タ全ク大孝ノ精神ヲ



失フニ至ラザリシ結果ニ因ルモノト奉存候  
サレハ我國民教育ニ於テハ皇室ト國民トノ君臣ノ名分ヲ明ニシテ大  
忠ノ精神ヲ深ク養成スル事ハ最必要ナルト同時ニ皇室ト國民トノ父  
子ノ名分ヲ明ニシテ深ク大孝ノ精神ヲ養フ事ハ尙遙ニ其重要ヲ加フ  
ルモノニテ此教ヲ缺ケル教育ハ單ニ形骸ノミノ教育ニシテ其精神ヲ  
失セルモノト奉存候而シテ大忠大孝ハ皇國ノ大道タル大義ノ表裏ヲ  
爲セルモノニシテ國民道德ノ源泉タル皇室ノ爲メニ事アルニ臨ミテ  
自ラ進ミテ犠牲ト爲ルヲ以テ最大名譽ト信スル世界絶無ノ至高至優  
ノ國民的道德タルモノト奉存候  
故ニ我國ニ於テハ假令毫髮ノ微ト云ヘトモ皇室ト國民トノ君臣ト父  
子トノ名分ヲ不明ナラシメ紊亂セシメ又ハ湮滅セシムルカ如キハ是

## 内閣

皇祖皇宗ノ徳ニ依リテ大成シ賜ヘル我國體ヲ損傷シ破壊セシムルモ  
ノト奉存候

然ルニ教育界ニ於テハ教育勅語中ノ忠孝ノ二字ヲ解スルニ方リ我國  
體ニ對シ深ク考慮ヲ加ヘテ大忠大孝ト解スルニ至ラヌシテ全ク儒教  
思想ヲ以テシ陛下ニ對シ奉リテ忠ニ臣民ノ父ニ對シテ孝ニト解シテ  
之ヲ教育ニ施シタル結果ハ

(甲) 君臣ノ名分ニ於テハ

(一) 忠孝ヲ併稱シテ陛下ト臣民ノ父トヲ同視シ奉ルニ至リ

(二) 皇室ニ對シ奉リ臣民ノ盡シ奉ルヘキ大義ノ大道ニ代フルニ臣民  
間ニ盡シ合フベキ忠道ノミヲ以テ足レリト爲シ

(三) 忠君ト稱シ陛下ヲ君視シ奉リテ一人以上ノ臣ヲ有セル者ハ皆君



タルヲ悟ラス

全ク大忠ト思トヲ混同シテ君臣ノ名分ヲ不明紊亂セシメ

(壹) 憲法ノ條章ニ反シテ天皇ノ神聖ヲ非認シ奉リ

(貳) 國體ノ基礎タル名分ヲ紊亂シテ大義心ヲ挫折セシメ

(參) 君父同視ノ教ヲ施シテ革命是認ノ憂アル思想ヲ養成シ

(乙) 父子上ノ名分ニ於テハ

(一) 教育勅語ニ於ケル聖意ノ大孝ヲ誤解シテ單ニ孝ト解シテ國民ノ

大父ニ對シ奉リ<sup>終</sup>スヘキ大孝ノ教ヲ全ク放棄シ

(二) 皇室ノ享有セララルヘキ大孝ヲ無數臣民ノ父ヲシテ分奪セシメテ

大父ノ神聖ノ地位ヲ侵サシメ奉リ

全ク陛下ト國民トノ父子ノ關係ヲ非認シ奉リ

## 内閣

(壹) 陛下ノ大父タル名分ヲ撤廢シ奉リ國民ノ大孝心ヲ失ハシメ奉リ

(貳) 萬世一系ノ皇統ノ血族的基礎ヲ薄弱ナラシメ奉リ

(參) 國體ノ要部ニ無數臣民ノ父ヲ加ヘテ國體觀念ヲ誤ラシメ

(肆) 皇室ニ對シ奉リ國民ノ血族的親密ノ情ヲ冷却セシメ奉リ

(伍) 思想的ニ大父ノ統制ヲ脱セル赤子ノ同胞思想ヲ薄弱ナラシメ團

結力ヲ失ハシメ各孤立セシメテ紛争ノ源ヲ養成スルニ至レリ

是等ノ諸大弊害ハ悉ク教育界ノ我國體ニ對シ深く考慮ヲ加フル事ナ

ク皇國ト全ク其基礎ヲ異ニセル漢土ノ儒教思想ヲ以テ教育勅語中ノ

忠孝二字ヲ解シタルニ因ルモノト奉存候苟モ國民思想ヲ指導スベキ

教育界ニ於テ皇室ト國民トノ君臣ト父子トノ兩名分ヲ紊亂シ撤廢シ

以テ國民思想ヲ惡化セシメルカ如キハ皇祖皇宗ニ對シ奉リ皇室ニ對



シ奉リ其罪ノ最深キヲ覺フルモノニ御坐候其結果ハ現ニ皇室ノ陪臣  
淺野長矩ニ對シ尽セル現時ニ於ケル罪人殺タル封建的復讐ノ忠ヲ認  
メテ大忠ト誤認シ遺臣大石良雄ヲ祭神ト爲シ思想善導ニ利セントセ  
ルカ如キ又ハ大忠ノ名ニ於テ教育ヲ施スニ至ラス弱者ヲシテ強者ニ  
尽サシムヘキ忠ノ名稱ヲ以テ教育ヲ施セル結果ハ弱者ヲシテ皇室ノ  
恩獨リ強者ニ對シテノミ厚キカ如キ謬想ヲ懷カシムルカ如キ又ハ陛  
下ノ行幸ニ方リテ前古未曾有ノ御警衛ヲ必要タラシメタルカ如キハ  
一民族一家ノ大父ニ對シ奉リ全ク有リ得カラサル事ニシテ其原因ハ  
教育ノ誤ニアルモノト奉存候

元來忠孝ノ教ハ封建時代其君ト主ト父トノ一私人ノミニ對スル私道  
ニシテ一國內ニ多數ノ君ト主ト父トノ無統制ヲ認ムル教ナレバ之ヲ

## 内閣

以テ國民教育ヲ施スニ至リテハ却テ國家ヲ支離滅裂ナラシムヘキ教  
育ニ有之故ニ我國ニ於テハ忠孝複本位ノ儒教ノ方針ヲ改メテ忠孝一  
致ノ單本位教育ヲ施スニ至リ候ヘトモ忠孝ヲ以テ強テ一致ト爲シ陛  
下ニ對シ奉リ大忠ヲ尽サント欲セハ先父ニ尽セ父ニ孝ナルハ陛下ニ  
對シ奉リ大忠ヲ尽ス所以ナリト教ヲ施スカ如キハ國民ヲシテ父則自  
家ノミニ尽スニ專ナラシメ皇室國家同胞ヲ顧ミサラシムル教ニシテ  
忠孝複本位教育ヨリ尙一層惡結果ヲ招クモノト奉存候人情ハ私ニ赴  
キ易ク之ヲ國家公共的ニ誘導スルハ教育ノ任ニ有之然ルニ私ヲ先ト  
シ國家同胞ヲ後ト爲ス教ヲ施スカ如キハ國家ヲシテ異民族ノ爭利場  
タル植民地ノ如クナラシメ億兆ヲシテ相爭ハシメ其結果皇室ノ下ニ  
存スル一民族思想ヲ失ハンメ牽ヒテハ萬世一系ノ皇統ニ對シ奉リ其



基礎ヲ薄弱ナラシムルモノト奉存候

今國家ヲ以テ一家ニ比シ一家ヲ以テ一民ニ比スレハ現在ニ於ケル教育ハ其戸主ニシテ且父ニ在マス陛下ニ對シ奉リ戸主ニ對スル家族ノ義務(忠)ノミヲ教フルニ急ニシテ一家ノ父タル陛下ニ對シ奉リ父ニ對スル義務(孝)ヲ教ヘス父ニ對シ對シ終スヘキ孝ヲ却テ已ニ奪フテ尽サシメ陛下ニ對シ奉リ終スヘキ大忠ト其輕重ヲ同フセシムル教育ニ有之故ニ國民ハ聖旨ノ在ル所ヲ尊重セス已ニ終スニ專ニシテ國家全体ノ幸福ヲ犧牲トシテ互ニ相争フニ至リ候斯ル教育ノ皇室ニ對シ奉リ不敬漢ヲ生シ國家社會ニ終スニ怯ニシテ其私ヲ營ムニ勇ナラシメ以テ現今思想紊亂ヲ招來セルハ當然ノ事ト奉存候  
我軍人ノ思想健全ニシテ腐敗セル國家内ニ別世界ノ如キ觀ヲ呈シ居

## 内閣

レルハ其教育ノ全ク國家ヲ先トシ其私ヲ後トセルニ因ルモノト奉存候若シ教育界ニ於テ忠孝ノ公私混同ノ教ヲ施スニ至ラス大忠大孝ヲ以テ施教スルニ至ラハ軍人ニ讓ラサル國民思想ヲ扶植スル事ヲ得ヘキモノト奉存候方今國民中健全ナル思想ヲ有スル者アルハ軍人思想ノ及ホセルモノニシテ教育者ノ與ル所ニハ無之事ト奉存候

尚シ又現在教育界ノ解スルカ如ク教育勅語中右孝ヲ以テ父ニ對スル

孝ト解スル至レハ左ノ齟齬ノ免レ能ハサルモノアルヘキカト奉存候

(一)勅語前段ニ於ケル孝ヲ以テ父母ニ對スル孝ト解セハ勅語後段ニ於ケル爾爾臣民以下父母ニ孝ニノ五字ハ剩餘ノ勅ト可相成カト奉存候

(二)我國體ハ皇祖皇宗ノ大成シ奉リタルモノニシテ臣民ノ與ル所ニア

※ラズサレハ臣民ハ皇室ニ對シ奉リ終スヘキ大忠ト等シキ大孝ヲ



何等享有スベキ權利無之若シ又右孝ヲ以テ父母ニ對スル孝ト爲サ  
ハ勅語中ニ臣民ノ國体上ニ建テタル皇祖皇宗ノ德ニ比スヘキ功德  
ノ勅語掲載アルベキ筈ナリト奉存候

三勅語第一節ハ臣民ノ皇室ニ對シ奉リテ大忠大孝ノ精神ヲ以テ億兆  
心ヲ一ニセルヲ國体ノ精華ト御認メアラセラレタル勅ニシテ若シ  
國民ニシテ各其父ニ孝ナランカ爲メニ其私ノミヲ營ムニ至リ候ハ  
、億兆心ヲ一ニスル事ハ不可能ノ事カト奉存候

四勅語第一節ハ臣民ノ大忠大孝ノ精神ヲ以テ國体ノ精華ト御認メア  
ラセラレタル勅ニシテ父母ニ孝ナルハ何等國体ニ關スルモノニ無  
之隨テ萬世一系ノ我國体ノ精華ト認ムヘキモノニアラスト奉存候  
五勅語第一節ハ皇祖皇宗ノ德ト臣民ノ皇室ニ對シ奉リ尽ス誠トヲ以

## 内閣

テ教育ノ淵源ト御認メアラセラレタル勅ニシテ一家ノ私事ニ關ス  
ル孝ノ如キハ教育ノ淵源ト認ムヘキモノニアラスト奉存候

六教育勅語第一節ハ皇祖皇宗ノ臣民ニ對スル德ト臣民ノ皇室ニ對シ  
奉リ尽ス誠トヲ交互ニ連結シタル勅ニ有之父母ニ對スル孝ハ皇祖  
皇宗ノ德ト何等ノ連結ナキモノト奉存候

右ニ因リ勅語中ノ右孝ハ父母ニ對スル孝ニアラスシテ臣民ノ皇室ニ  
對シ奉リ大父ニ尽スヘキ赤子ノ大孝ト解スヘキモノト奉存候

我國ノ生命タル教育勅語中ノ忠孝二字ノ解釋如何ハ事皇室ノ安危ト  
國家盛衰興亡ノ關スル所ニシテ之ニ優劣重大ナル問題ハ無之毫髮ノ  
微ト云ヘドモ國体ヲ傷クルカ如キ解釋ヲ爲スヲ許スベキモノニアラ  
スト奉存候若シ果シテ斯ル憂アリトスレハ之ヲ是正スルニ一日ノ猶



豫躊躇ヲ許スヘキモノニアラス悪化ヲ繼續セル思想ヲシテ急速ニ反  
轉セシメンカ爲メニ一大英斷ニ出テサルベカラサルモノト奉存候而  
シテ之ヲ爲ス事ハ最容易ナル事ト奉存候  
則從來教育ノ中樞タル忠孝中心ノ教育ヲ改メテ大孝大忠ヲ中心ト爲  
セル方針ニ出テ孝ノ教育ハ國体教育中ヨリ全ク排除シ純正ナル皇室  
中心主義ノ方針ニ出テ私ヲ先トシ公ヲ後ト爲シ已ヲ利シテ其余德ヲ  
以テ國家ニ及ホスヘキ教ヲ全廢シ公私相關ノ際ニ於テハ斷然公ヲ王  
トシ私ヲ從ト爲ス教ヲ施シ皇室ト國民トノ君臣ノ名分ヲ正シ陛下ト  
赤子トノ父子ノ名分ヲ明ニシ大忠大孝ヲ表裏ト爲セル大義ノ教ヲ盛  
ナラシメ公私ノ判然タル區別ヲ教ヘ國家社會ヲ先トシ已ヲ後トシ事  
アルニ臨ミテハ皇室國家ノ爲メニ犧牲ト爲ルヲ以テ最大ノ名譽ト爲

## 内閣

セル古代ノ國民的美風ヲ復活シ正ヲ履ンテ動カス廉恥ヲ重ンシ節操  
ヲ貴ヒ義ノ大小ヲ撰ミテハ必小ヲ犧牲ニ供シ其大ヲ活カシ隣保相睦  
ミ同胞相助ケ協同一致以テ億兆心ヲ一ニセシメ以テ教育上昭和維新  
ノ一大革新ヲ施スヘキ時機ナリト奉存候今ヤ内閣ニ於テモ思想教育  
問題ニ於テ研究又ハ施設セル所ナキニアラスト云ヘトモ是等ハ皆教  
育勅語ニ於ケル舊來ノ誤解ヲ訂正シタル後ニ於テ始メテ行ハル、事  
ニシテ思想險惡ノ源因ハ一ニ右解釋ノ當ヲ得サルニ起因スルモノナ  
レハ國民精神作興運動ノ如キハ從來ノ教育勅語ノ忠孝ノ二字ノ誤解  
ヲ訂正シテ廣ク國民一般ニ周知セシムル事ノ最必要カト奉存候  
赤子茂吉夙ニ國民の大道ノ名分ヨリ發セル大義ニ存スル事ヲ悟リ又  
忠孝ノ革命ヲ是認セル漢土ノ教ニシテ之ヲ移シテ我教育ニ施ス事ノ



危険ナルヲ危ミ早晚思想上ニ恐ルヘキ變動ノ來ルアラシク恐レ居リ候ヘトモ教育勅語ニ於ケル忠孝ノ二字ニ對シ意見ノ發表ヲ控ヘ居リ候後皇室ニ對シ奉リ不敬漢ノ出ツルニ及ヒ赤子ノ情默視スル事能ハス因リテ皇國ノ大道ノ大義ニ存スル十八例及忠孝教育ノ害毒八條ヲ舉ケ題シテ忠孝ト大義ト稱シ一小冊子ト爲シ之ヲ宮内省文部省其他朝野ノ名士ニ郵送シ且又至ル所ニ宣傳シテ世ノ覺醒ヲ促シタリ然ルニ其多クハ其說ヲ許シテ其舉ニ賛セス或ハ狂視シ危險人物視シ違勅者シ多少世ノ迫害ヲ蒙ルニ至リ候已ヲ棄テ、大義ノ行動ニ出テタル身ノ恥ツル處無之候ヘドモ逆賊ニ均シキ違勅者視サレテハ懊惱禁スル事能ハサルモノアリ謹テ皇祖ニ對シ之ヲ訴ヘ教育ノ歸正ヲ祈願致シ候後深ク思フ教育勅語ニ潛メ千思萬考昨年五月ニ至リ始メテ教育

## 内閣

勅語ニ於ケル聖意ノ存スル所ハ忠孝ニアルニアラスシテ大忠大孝ニアル事ヲ悟リ赤子ノ議論ノ違勅ニアラスシテ却テ世ノ教育者ノ違勅ノ教育ヲ施セルモノナルヲ知り之ヲ書ニ著ハシテ天下ヲ覺醒ヲ促サントシタルニ其利ノ伴ハサル著書ノ出版ヲ納諾スル者ナク而シテ赤子今ハ出版ノ餘力ヲ缺ク茲ニ於テ本年一月請願書ヲ上リ教育勅語中忠孝二字ノ解釋ヲ宮中ヨリ一般國民ニ御明示アリタク願上候赤子年已ニ七旬ニ達シ目下健康ナレトモ餘命且夕ヲ計ラス著書ニシテ公ニスル事能ハス從來ノ研究ノ空シク埋没シテ後來赤子ノ志ヲ嗣ク者無ク皇國ノ安危ニ權ル教育ノ歸正ノ望ムベカラサルニ於テハ死ストモ誤スル事能ハサルヲ覺エ候因リテ其後研究セル所ヲ増補シ第二回ノ請願ニ出テ泣血以テ大父ノ膝下ニ縋リ謹シテ拜伏シテ奉請願候



昭和九年四月四日

京都市上京區紫竹

東北町六四ノ五

無職平民 小野 茂 吉

六十九年二月

印

上

内

閣